



2023年3月26日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2023年春闘 No.13

2022年度推進ニュース②通算 292号

発行責任者 小島 茂

神奈川県知事選挙で県民要求を実現しよう 建交労は岸牧子候補の支持を広げます！

統一地方選挙前半戦は3月23日に県知事選が告示され本番に入りました。3月31日には県議会議員と横浜・川崎・相模原の政令市議会議員選挙が告示され県知事選とともに4月9日に投開票されます。いまの神奈川県政は、大企業には莫大な予算を使いますが県民生活の面を見ると、例えば医療体制では保健師さんの数と一般病床の数は47都道府県中47位、看護師さんの数は46位など恥ずべき実態です。また、沖縄に次ぐ基地県でありながら平和の問題も国の言いなりで軍拡賛成です。この県政を変えたいとの強い思いで「平和で明るい神奈川県政をつくる会」から前回に続いて立候補したのが岸牧子さんです。建交労神奈川県本部は2月5日の委員会で岸牧子さん（当時予定候補）の支持を決定し、「組合員一人が10人に岸牧子候補への支持を広げる対話をしよう」と呼びかけました。神奈川県南支部は、この県本部の提起に応じて「支部組合員一人が10人の家族や知人・友人などに岸牧子候補への支持拡大を呼びかける運動を展開する」ことを3月25日に開催した第5回執行委員会で確認しました。全分会・班に選挙活動への参加を呼びかけます。

JR川崎駅で今年2回目の宣伝行動実施！



神奈川県南支部は、今年に入って2回目のJR川崎駅前での宣伝行動を3月25日に行いました。参加者は残念ながら小島委員長と金崎書記長、佐藤執行委員、赤羽の4人だけでしたが、川崎駅前でのテッシュ付きビラの受け取りは雨降りの悪天候にも左右されることなく次々と行き交う市民に受け取られていき、準備した個数はたちまち配布しました。

市民に政策を訴える小島委員長

ハンドマイクを握った小島委員長は春闘と国民生活、平和の問題などに触れて「大手組合では今年の春闘で多くの企業から満額回答がつづきました。一方、全労働者の約7割がはたらく中小企業での春闘はこれからが本番です。また、岸田政権が大軍拡を強行するなかで労働組合には平和を守る運動も求められています。労働者・国民一人ひとりが声を上げ、力を合わせ、行動に立ち上がって大幅賃上げと大軍拡を阻止しましょう」と市民に訴えました。

